

## 合理的かつ公正な意思決定

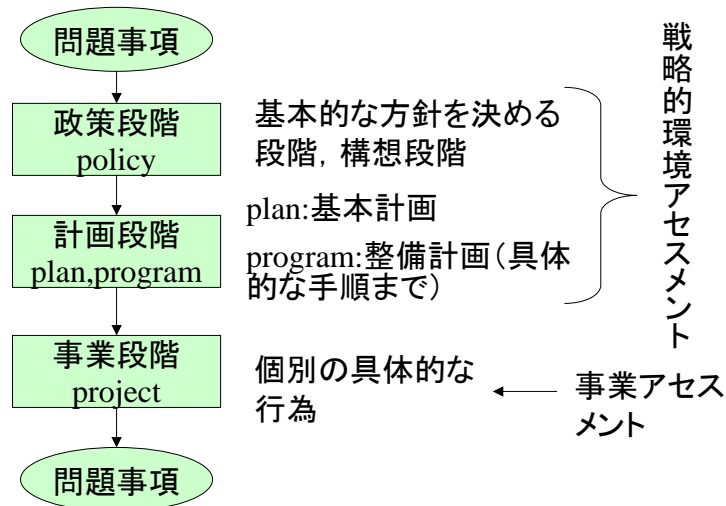
- 合理的な判断
  1. 事業の必要性
  2. 費用対効果
  3. 効率性
  4. リスク配慮
- 公正な判断
  - \* 結果の公正 or 手続きの公正
  - \* 評価項目は「社会」「経済」「環境」
- 効率性も

2006.4.1

原科幸彦教授による

5

## 政策, 計画, 実施とSEA



2006.4.9

原科幸彦教授による

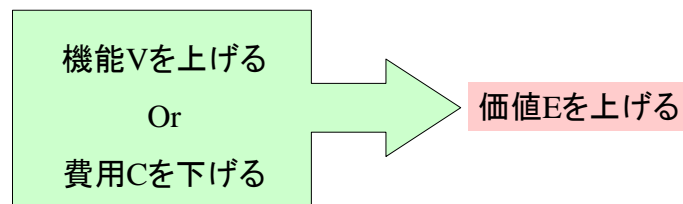
6

## VE手法

バリュー・エンジニアリング(価値工学)

$$\text{価値}E = \frac{\text{機能}V}{\text{費用}C}$$

機能を分解して, その原点に立ち返って, ブレインストーミングを通して, 代替案を考える



2006.4.9

高橋私案

7

## 戦略的アセスメントの適用

- 事業の計画段階, 政策段階から環境影響評価を行っていく
- システム分析は「代替案分析」が核心  
→計画の代替案をできるだけ多数考案し, これらを比較分析することにより最適案を探索していく

2006.4.9

原科幸彦教授による

8

## 環境価値分析の活用

- 環境価値分析として仮想市場法(CVM)の適用 →
- 利用例
  - 「海岸高潮対策効果」
  - 「砂浜のレクリエーション価値」
  - 「海岸侵食の防止効果」
  - 「海の自然環境」
  - 「農村の景観形成機能」
  - 「水田の公益的機能」

### CVM

1. 環境や行政サービスの水準を向上させるのに支払って良い額(支払意思額WTP)
2. 環境や行政サービスの悪化を補償してもらいたい額(受入補償額WTA)

(問い)・・・に対してあなたはいくら支払っても良いと考えますか？

(答え)・・・円

2006.4.9

高橋私案

9

## 政策評価(成果主義) アウトカム指標の設定

- 来訪者数(釣り客, 花火客, 海水浴, 散歩, サイクリング, サーフィン・・・)
- 大気質
- 土地取引価格
- 海浜面積(砂浜の幅)
- 動植物の種, 数, 量

2006.4.9

高橋私案

10